

# 第1章 はじめに

総合計画は、枚方市がめざすまちの姿（将来像）を示し、その実現に向け市政全般にわたる施策の方向や主要な取り組みを定めた計画で、市のすべての計画の基礎となるものです。

本市では、めざすまちの姿を「出会い・学びあい・支えあい、生きる喜びを創るまち、枚方」とし、平成13年に第4次総合計画を策定しました。

この第4次総合計画は、平成27年度を目標年度とした基本構想、平成22年度を目標年度とした基本計画、及びそれを具体化する実施計画で構成されています。基本構想では、めざすまちの姿を実現するため6つの基本目標と17の基本方向を掲げ、基本計画では、その実現に向けた施策の目標や主要な施策を定め、その具体化を進めてきました。

また、基本計画については、社会経済情勢の変化などを考慮し、「計画期間の後期となる平成17年度において見直しと検証を行い、必要に応じて本計画を改定する」としていました。

これまでの基本計画の進捗状況は、各施策とも概ね順調に展開し、重点プランも概ね達成しています。しかし、今後、少子化による人口減少や市税収入などの歳入の減少が予測される厳しい状況のなか、新たな行政需要や課題に対応する必要があります。

そのため、引き続き基本構想で定めためざすまちの姿の実現に向け、これからの社会状況等の変化に対応できるように、基本計画と実施計画を見直し、第2期基本計画として策定したものです。



枚方市駅前